

## 保健室と家庭を結ぶ連絡袋

今日、結核健康診断問診調査票、運動器検診調査票を配布しました。運動器検診調査票については、1年生は入学式の時に提出してもらっていますから、今回は、結核健康診断問診調査票のみです。

定期健康診断では、子どもたちの健康を守るために、色々な検査があります。今回の問診票は、校医検診の時に使います。問診票には、個人情報満載です。人に見られないように、提出されるときには、「保健室と家庭を結ぶ連絡袋」に入れてください。この袋は、6年間使用します。なくさないようにしてください。昨年度から使用していますが、なくされた場合は、以前使用していたものをお渡ししますので、御了承ください。

問診票の提出期限は来週の水曜日です。25日の校医検診で使います。1年・2年生は特に忘れないようにしてください。

身体測定、視力検査、聴力検査が終わりました。視力検査については、B・C・Dと判定された子どもさんに再検査をしてから家庭連絡をしようと思っています。もちろん、連絡袋を使つての通知です。

来週は、眼科検診を23日の火曜日、尿検査を24日の水曜日、校医検診を25日の木曜に1年、2年生で行います。体調を整えて検診を受けさせたいと思いますので、ご協力下さい。

個人情報についての配慮のための連絡袋です。しかし、連絡袋では対応できないような（少々オーバーですが）相談事などありましたら、いつでも保健室のドアをノックしてください。子どもたちにとっては、ばあちゃん？もしかしたら、それ以上の年齢とキャリアを積んだ養護教諭がお待ちしています。養護教諭として、今年で42年目を迎えています。それなりの経験も積んでいますので、どんなことでもいいですから気軽に保健室を利用してください。

今年度の保健だよりモモでは、「ほけんしつで見つけたあったかーい話」をより多く出せたらと思っています。それに加えて、素敵な本の紹介もしていきたいです。

私の本棚から「はじまりは愛着から 人を信じ、自分を信じる子どもに」の著者である、児童精神科医の佐々木正美先生の本の中から、母性について考えたいと思います。

母性性とは、家庭のなかで子どもや家族を受容、許容、承認する力です。そのままでもいいよという安らぎ、憩い、くつろぎの体験を十分にさせてやるものです。子どもに、包み込まれている安心感や、見守られているという安心感を実感させるものです。～中略～

どんなことがあっても、そして、子どもの年齢が何歳であっても、乳幼児期から少年、思春期の若者まで、必要ならば必要なだけ、まず母性性を十分に与えること、そしてそのあと順次、徐々に並行して父性性が機能していく、そんな育て方をすることが何より重要です。それが子どもたちの社会性の発達や人格の成長に、決定的に影響するからです。